



社会との真摯な  
コミュニケーション

## 皆さまとのコミュニケーションを積極的に推進します

関連するSDGs



## 当社に対するご意見をお聴きし、 当社の事業活動をお伝えするため、お客さまや地域の皆さまとの フェイス・トゥ・フェイスのコミュニケーション活動

を推進しています。 2017年度：延べ約12万人の方々とコミュニケーションを実施

### 訪問活動



お客さまをご訪問のうえ、当社の事業活動についてご説明

### お客さまとの対話の会



さまざまな立場の方にご参加いただき、  
いただいたご意見・ご要望を、事業活動に反映

### 出前授業



小・中学校、高校等を訪問して、電気や環境、  
エネルギーについての授業を実施

### 事業所オープンデー



地域のお客さまからの日頃のご愛顧に感謝の  
気持ちをお伝えするため、九州各地の事業所  
で、工夫をこらしたさまざまなイベントを開催

### 地域の皆さまとの協働イベント



地域の皆さまと協働で、地域の活性化や課題  
解決につながるイベントを開催

## ◆原子力発電への不安や疑問に お応えするコミュニケーション活動

原子力にリスクがあることを前提として、地域の皆さまの「思い」を丁寧にお聴きし、リスクの共有を図る「リスクコミュニケーション」に取り組んでいます。

さまざまなコミュニケーション活動の中で、地域の皆さまの不安や疑問の声を丁寧にお聴きし、いただいた声については、経営層を含む社内で共有し、地域の皆さまが「安全である」「安心できる」と感じられる取組みにつなげていきます。

2018年7月には、玄海エリアにおけるコミュニケーション体制を強化するため、新たに「玄海原子力総合事務所」を設置しました。



① この他にどのような取組みを行っているの？

詳しくはウラ面へ

## 積極的な情報発信

テレビやホームページ、SNSなど、さまざまなメディアを通じて、事業活動を積極的に発信しています。

非常災害時には、フェイスブックで復旧作業状況を発信している他、2018年9月に公式ページを開設したTwitterでも停電情報等を発信しています。また、「九州電力携帯メールサービス」では、非常災害時だけでなく突発的に発

生した停電時においても停電戸数や復旧見込み等をメール配信するなど、タイムリーに情報を発信しています。

また、生活情報誌「みらいと」を発行し、お客さまの暮らしに役立つ省エネ、家事などの情報を発信しています。（配布は一部地域。当社HPにも掲載しています。）



公式Facebookページでは、非常災害の復旧情報の他、当社の事業活動を広く発信しています。



公式Facebookページはこちら



「みらいと」(Web版)はこちら

公式Twitterページはこちら



「携帯メールサービス」のご登録はこちら



2018年4月に公式Instagramページ開設。「九州の夜景・灯りのある風景」などをテーマとした写真をお届けします。

公式Instagramページはこちら



## わかりやすい情報発信

電力会社として初めて、情報コミュニケーションをわかりやすく改善する技術(UCD:ユニバーサルコミュニケーションデザイン)を導入し、パンフレットの作成などにおける「情報品質」の向上や「わかりやすさ」の技術習得に取り組んでいます。

### 「わかりやすさ」の技術習得

広報部門・営業部門等の社員が、UCDを推進する人材育成のための認定資格「UCDA認定2級」資格を取得



その取り組みが評価され、2017年11月、(一社)ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会(UCDA※)が主催する「UCDAアワード2017」において、実行委員会特別表彰を受賞しました。

※UCDA:「見やすい、わかりやすい、伝わりやすい」情報コミュニケーションの実現を目指して、「わかりやすさ」の基準をつくり、「わかりやすさ」の認証を行っている団体



「UCDAアワード2017」  
実行委員会特別表彰受賞

## ◆施設見学を通じたコミュニケーション活動

グループ会社の(株)九電ハイテックでは、同社が設備保全を行う水力発電所等の施設見学を通じて、ステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションを推進しています。

2017年度は、鹿児島県の国分変電所・小鹿野発電所への高校生の職場体験学習受入れなど、約450名の方々に施設を見学していただきました。



高校生の職場体験学習受入れの様子